

2024年10月30日  
いずみの農業協同組合

## 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針

いずみの農業協同組合（以下、「当組合」といいます。）は、『「人」が大切、「緑」が大切。』を組合理念とし、「食・農・くらしを基軸に地域とつながるJA」を目指し、「地域農業を守る」「地域の食を守る」「組合員のくらしを守る」の「3つの守る（支える・解決する）」事業・活動を展開しております。

当組合では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下「原則」といいます。）を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて、地域に根ざした組織として社会的役割を誠実に果たすため、当組合の「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組み方針」の見直しを実施いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況については、定期的に公表するとともに、より組合員・利用者本位の業務運営に資するよう、社会情勢や環境変化等を踏まえ、必要に応じて本方針を見直してまいります。

注) 共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（以下、JA共済連）が、共同で事業運営しております。JA共済連の「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針等」は、JA共済連のホームページをご参照ください。

### 【JAいずみの理念（組合理念）】

#### 「人」が大切、「緑」が大切。

JAいずみのは、「人」と「人」の結びつきを基盤として存在しています。ここでいう「人」とは、組合員であり、地域の人々であり、私たち役職員であり、親、子、兄弟、友人、知っている人、知らない人、近くの人、遠くの人、日本人、外国人……。

この人々のつながりこそが私たち“JAいずみの”の宝であり、今までより以上に大切にしていかなければならないと確信しています。

一方、私たちは、「人」を大切にすると同様に、「緑」を大切にし、守り育てなければならないと考えています。

「緑」とは、草や木だけでなく、農業や農産物、林や森、身近な自然、大きな自然、都市の環境、地球の環境までを含めて考えています。

これらの「緑」は人が生きるためには不可欠なものであるがゆえに、大切にしていくな活動をより積極的に展開します。

そして、JAいずみのは、「人」、「緑」を大切にすることにより、地域に根ざした組織として、社会的役割を誠実に果たしてまいります。

## 1. 組合員・利用者への最良・最適な金融商品、共済仕組み・サービスの提供

### (1) 金融商品

①組合員・利用者の皆さまに提供する金融商品は、特定の投信運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客様の多様なニーズにお応えできるものを選定します。

なお、当組合は、金融商品の組成に携わっていません。

②金融商品の選定にあたっては、次の観点から組合員・利用者の皆さまの色々な「投資に関する好み」に合った商品を揃えつつ、「選びやすさ」、「長期投資への適性」を考慮し、一定の商品数に絞った『セレクトファンド』により商品提供を行います。

#### <セレクトファンド選定基準>

##### (i) 長期投資

将来の備えに向けて「長期投資」を前提とした投資信託であること。

(テーマ型ファンドでないこと)

##### (ii) 手数料

手数料が良心的な水準であること。

##### (iii) 運用実績

過去の運用実績が相対的に良好であること。

##### (iv) 将来性

これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては過度な分配金を捻出する投資信託ではないこと。

##### (v) 運用体制

運用体制について、外部機関の評価を得ていること。

【原則 2 本文および (注)、原則 3 (注)、原則 6 本文および (注 2、3)】

### (2) 共済仕組み・サービス

日々のくらしや農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、組合員・利用者の皆さまに共済仕組みと最良なサービスを提供します。

なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）は提供していません。

【原則 2 本文および (注)、原則 3 (注)、原則 6 本文および (注 2、3)】

## 2. 組合員・利用者本位のご提案と情報提供

### (1) 信用の事業活動

- ①組合員・利用者の皆さまへの商品提案にあたっては、「スタイル診断シート」を活用し、組合員・利用者の皆さまのリスク許容度を確認し、金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて組合員・利用者の皆さまにふさわしい商品をご提案します。
- ②組合員・利用者の皆さまへの商品提案にあたっては、「重要情報シート」により、当組合の提供する投資信託商品が長期運用を前提としたものであることなど、商品の性質を明確にしたうえで商品提案を実施します。
- ③組合員・利用者の皆さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について資料を提供のうえ分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。
- ④組合員・利用者の皆さまが高齢の場合等においては、上席者の事前承認や同行対応による勧誘・ご提案、取引約定時における再確認等、組合員・利用者の皆さまの特性に応じ適切な対応を実施します。
- ⑤組合員・利用者の皆さまへの商品販売後も、金融市場の変動等に応じて、必要な情報提供を行う等適切にアフターフォローを行います。
- ⑥組合員・利用者の皆さまとの取引内容について定期的なモニタリングを実施し、組合員・利用者の皆さまへ適正な商品のご提案・販売を行っているか検証しています。

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

### (2) 共済の事業活動

- ①組合員・利用者の皆さまにご提案する共済種類に応じて、各種公的保険制度等にかかる情報提供を行い、一人ひとりのライフイベント等の目的やニーズに応じた、最良・最適な保障・サービスの提案を行います。
- ②保障の加入にあたっては、適切な販売支援ツール(提案資材)等を用いて、組合員・利用者の皆さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、共済仕組みの保障内容を十分にご理解・ご納得いただけるよう、丁寧で分かりやすい重要事項説明(契約概要・注意喚起事項)を実施します。

③ご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、より丁寧に分かりやすい説明を心がけ、契約者である組合員・利用者さまだけでなく、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、ご家族も含めて十分にご理解・ご納得いただけるよう対応いたします。

④なお、保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はありません。

⑤ご契約の変更や共済金のご請求等の各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすいご説明を心がけるとともに、正確かつ迅速な対応を行います。また、3Q活動を通じた近況確認、あんしんチェック等の日々の接点により、ご契約後も安心いただけるアフターフォローを実施します。

【原則2本文および(注)、原則4本文、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

### 3. 利益相反の適切な管理

(1) 組合員・利用者の皆さまへの商品選定や情報提供にあたり、組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

【原則3本文および(注)】

(2) 金融商品の販売・推奨にあたっては、「重要情報シート」により、当組合の利益と組合員・利用者の皆さまの利益が反する可能性とその対処について明確化します。

【原則4本文、原則5本文および(注1～5)】

### 4. 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

(1) 組合員・利用者の皆さまの信頼を獲得し、満足していただける金融商品、共済仕組み・サービスを提供できるよう、職員の継続的・定期的な研修を実施するとともに、組合員・利用者の皆さまの多様な資産形成や保障ニーズに応え、誠実・公正な業務を行うことができる職員を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

(2) 組合員・利用者の皆さまへの適切な提案に資する高度な専門性を有する職員育成のため、外部資格取得を推奨しています。

【原則 6 (注 5)、原則 7 本文および (注)】

<内部研修・資格制度>

- ・証券外務員資格再研修 (対象：信用担当職員)
- ・ライフアドバイザー認証要件研修 (対象：渉外担当職員)
- ・スマイルサポーター認証要件研修 (対象：共済担当職員)
- ・推進担当者認証要件研修 (対象：LA 管理者・共済担当職員・渉外担当職員) 等

<取得を推奨する外部資格>

- ・証券外務員 2 種 (対象：信用担当職員)
- ・内部管理責任者試験 (対象：信用担当職員)
- ・FP 3 級技能士 (対象：全職員)

(3) 組合員・利用者の皆さまからいただいた「声 (お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など)」を真摯に受け止め、組合員・利用者の信頼と期待に応え続ける事業活動を目指し、職員育成と業務改善に努めます。

【原則 2 本文および (注)、原則 6 (注 5)、原則 7 本文および (注)】

(4) 業績の評価にあたっては、「手数料収入への貢献度等」ではなく組合員・利用者ニーズに沿った商品販売・保障提案を行った結果としての「預かり資産残高等」の他、「提案プロセス」を評価材料としています。

【原則 7 本文および (注)】

以 上

※上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」(2021 年 1 月改訂) との対応を示しています。

### 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- いずみの農業協同組合（以下、「当組合」といいます。）は、『「人」が大切、「緑」が大切。』を経営理念として、「食・農・暮らしを基軸に地域とつながるJA」を目指し、「地域農業を守る」「地域の食を守る」「組合員の暮らしを守る」の「3つの守る（支える・解決する）」事業・活動を展開しております。
- 当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に「貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

いずみの農業協同組合

# I.取組状況

## 1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

### (1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	9 (前年度末：8)
株式型	6 (前年度末：6)	7 (前年度末：7)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	11 (前年度末：11)	

<商品選定の考え方>

主な選定基準

1. **長期投資**  
長期投資を前提とした投資信託であること
2. **手数料**  
手数料が良心的な水準であること
3. **運用実績**  
過去の運用実績が相対的に良好であること
4. **将来性**  
資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
5. **運用体制**  
運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

# I.取組状況

## 1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

### (2) 共済仕組み・サービス

原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)

- 当組合は日々のくらしや農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、組合員・利用者の皆さまに共済仕組みと最良なサービスを提供しております。
- 住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱いを新たに開始しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は3月末時点で94.7%となっており、高水準を維持しております。



# I.取組状況

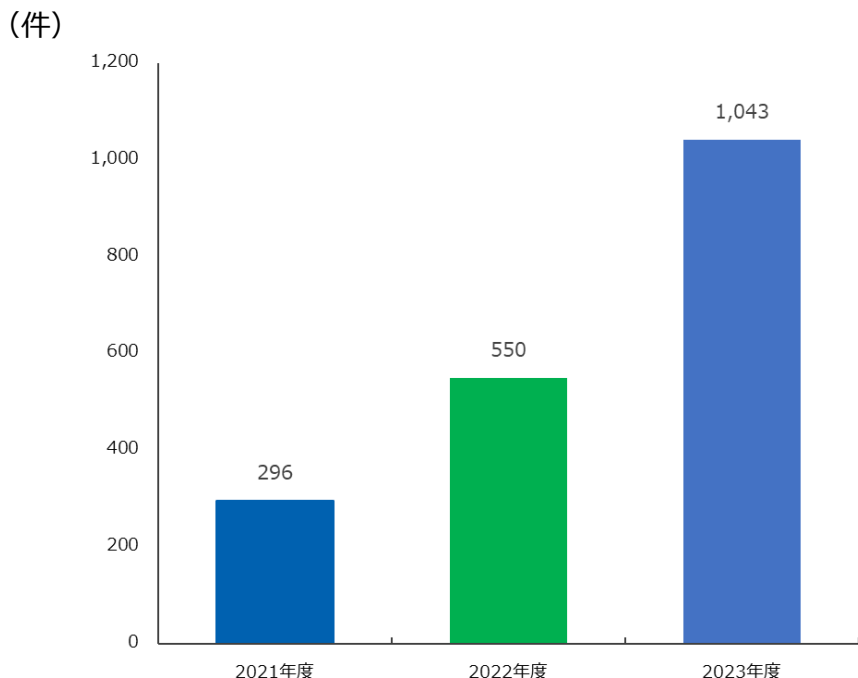
## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、  
原則6本文および(注1、2、4、5)】

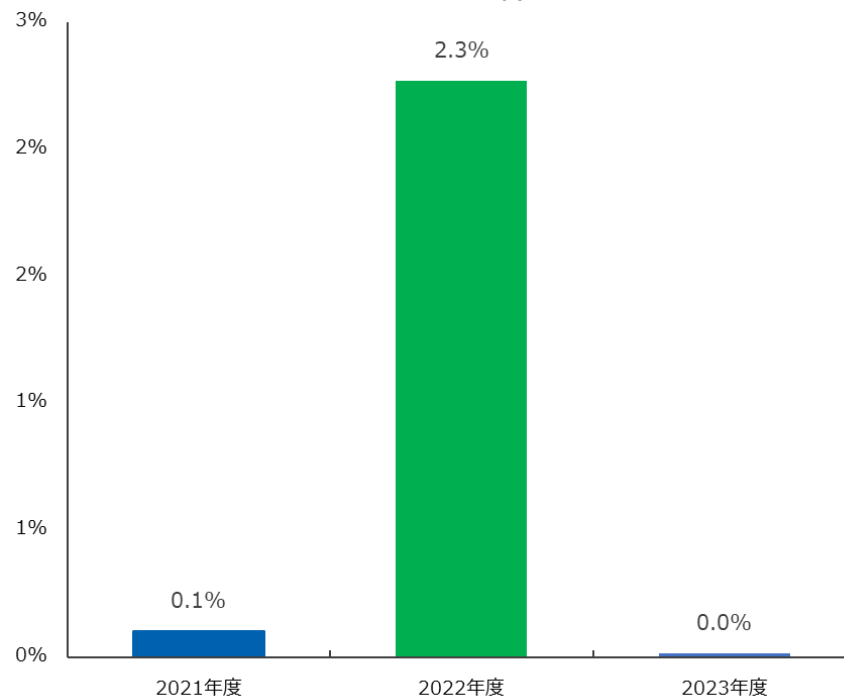
### (1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下いたしました。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



# I. 取組状況

## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

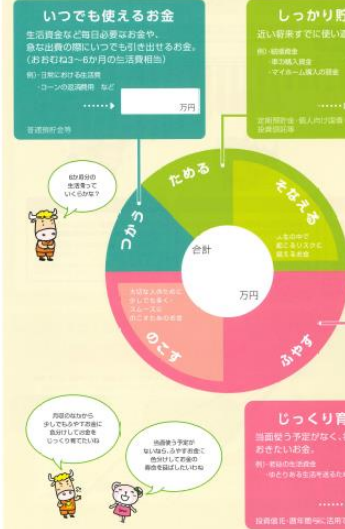
【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

### (1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ、JAバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

### お金の色分け

まず、お持ちの資金(または収入)を目的に応じて色分けします  
お持ちの資金(または収入)を、色分けしてきましょう。  
そうすることで、どのくらい年間積立額を調べれば良いのかわかってきます。



## 資産運用ガイド

安心でゆとりある将来のために、JAバンクはお客さまと一緒に資産形成・資産運用を考えます。ぜひ、ご相談ください。



### 月刊マーケットレター (10月号)

項目	前月の数値	前月の増減	前月の増減の理由	前月の数値	前月の増減	前月の増減の理由	
日経平均株価	前月: 37,918.55円 当月: 38,647.77円 増減率: +1.9%	↑	国内市場は前期前半に急伸したことが主な要因。9月の半値割りに対する期待感により、追加の上昇に導かれたことによる。海外市場は米連邦準備局の利上げペースが速いことにより、相場急落となった。	10年国債利回り(日本)	前月: 0.861% 当月: 0.899% 増減率: +0.037	↑	国債市場は前期前半に急伸したことが主な要因。9月の半値割りに対する期待感により、追加の上昇に導かれたことによる。海外市場は米連邦準備局の利上げペースが速いことにより、相場急落となった。
S&P500指数	前月: 5,762.48ポイント 当月: 5,806.40ポイント 増減率: +0.8%	↑	米国市場は前期前半に急伸したことが主な要因。9月の半値割りに対する期待感により、追加の上昇に導かれたことによる。海外市場は米連邦準備局の利上げペースが速いことにより、相場急落となった。	10年国債利回り(米国)	前月: 3.781% 当月: 3.903% 増減率: +0.123	↑	米国市場は前期前半に急伸したことが主な要因。9月の半値割りに対する期待感により、追加の上昇に導かれたことによる。海外市場は米連邦準備局の利上げペースが速いことにより、相場急落となった。
【東証REIT指数】	前月: 1,728.24ポイント 当月: 1,728.05ポイント 増減率: -0.01%	↓	東証REIT市場は前期前半に急伸したことが主な要因。9月の半値割りに対する期待感により、追加の上昇に導かれたことによる。海外市場は米連邦準備局の利上げペースが速いことにより、相場急落となった。	【米ドル】	前月: 148.00円 当月: 148.00円 増減率: 0%	±	米ドル相場は前期前半に急伸したことが主な要因。9月の半値割りに対する期待感により、追加の上昇に導かれたことによる。海外市場は米連邦準備局の利上げペースが速いことにより、相場急落となった。

### JAバンクセレクトファンドマップ

リスクリターン 小 → 大

保守型 (C) 安定型 (A) 中間型 (M) 中間型(中間-中間) 積極型 (R)

左からリスクの小さい順に  
自分スタイルに  
あわせて

1 資産形成  
2 生活費  
3 教育費  
4 貯蓄  
5 投資

JAバンクのセレクトファンドは、国内約6,000本のなかから、JAバンクが独自の基準で長期投資に適した投資商品を厳選しました。

# I.取組状況

## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1・2・4・5)】

### (2) 共済の事業活動

#### ① 共済仕組み・サービスのご提案

- 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、適切な販売支援ツール（提案資材）等を用いて、組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- 組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に基づき、ライフイベント等の目的やニーズにより、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

#### ② 情報提供

- 組合員・利用者の皆さまにご提案する共済種類に応じて、各種公的保険制度等に基づき、情報提供を実施しております。
- 情報提供にあたっては、重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）などにより、分かりやすく説明しております。

#### ③ 契約締結時の対応

- 適切な販売支援ツール（提案資材）等を用いて、ご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

### （2）共済の事業活動

#### ④ 高齢者対応

- ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはより丁寧に分かりやすい説明を心がけ、ご家族の同席等を徹底するなどによりきめ細やかな対応を行っております。
- 高齢者対応における親族等の同席の割合は、令和5年度は98.2%となりました。

#### ⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
- 令和5年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- 3Q活動を通じた近況確認、あんしんチェック等の日々の接点により、ご契約後も安心いただけるアフターフォローを実施するなど組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等をご負担いただいております。

## 3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1~5)】

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 営業部門から独立した利益相反管理統括部署を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
  - ①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型  
(例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合)
  - ②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引  
(例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合)

## 4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)原則7本文および(注)】

### ① 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- ・ 当組合は、組合員・利用者の皆さまの信頼を獲得し、満足していただける金融商品、共済仕組み・サービスを提供できるよう、職員の継続的・定期的な研修を実施するとともに、組合員・利用者の皆さまの多様な資産形成や保障ニーズに応え、誠実・公正な業務を行うことができる職員を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。
- ・ 組合員・利用者の皆さまへの適切な提案に資する高度な専門性を有する職員育成のため、外部資格取得を推奨しております。

#### <内部研修・資格制度>

- ・証券外務員資格再研修（対象：信用担当職員）
- ・ライフアドバイザー認証要件研修（対象：渉外担当職員）
- ・スマイルサポーター認証要件研修（対象：共済担当職員）
- ・推進担当者認証要件研修（対象：L A 管理者・共済担当職員・渉外担当職員）等

#### <取得を推奨する外部資格>

- ・証券外務員2種（対象：信用担当職員）
- ・内部管理責任者試験（対象：信用担当職員）
- ・FP3級技能士（対象：全職員）

## 4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5) 原則7本文および(注)】

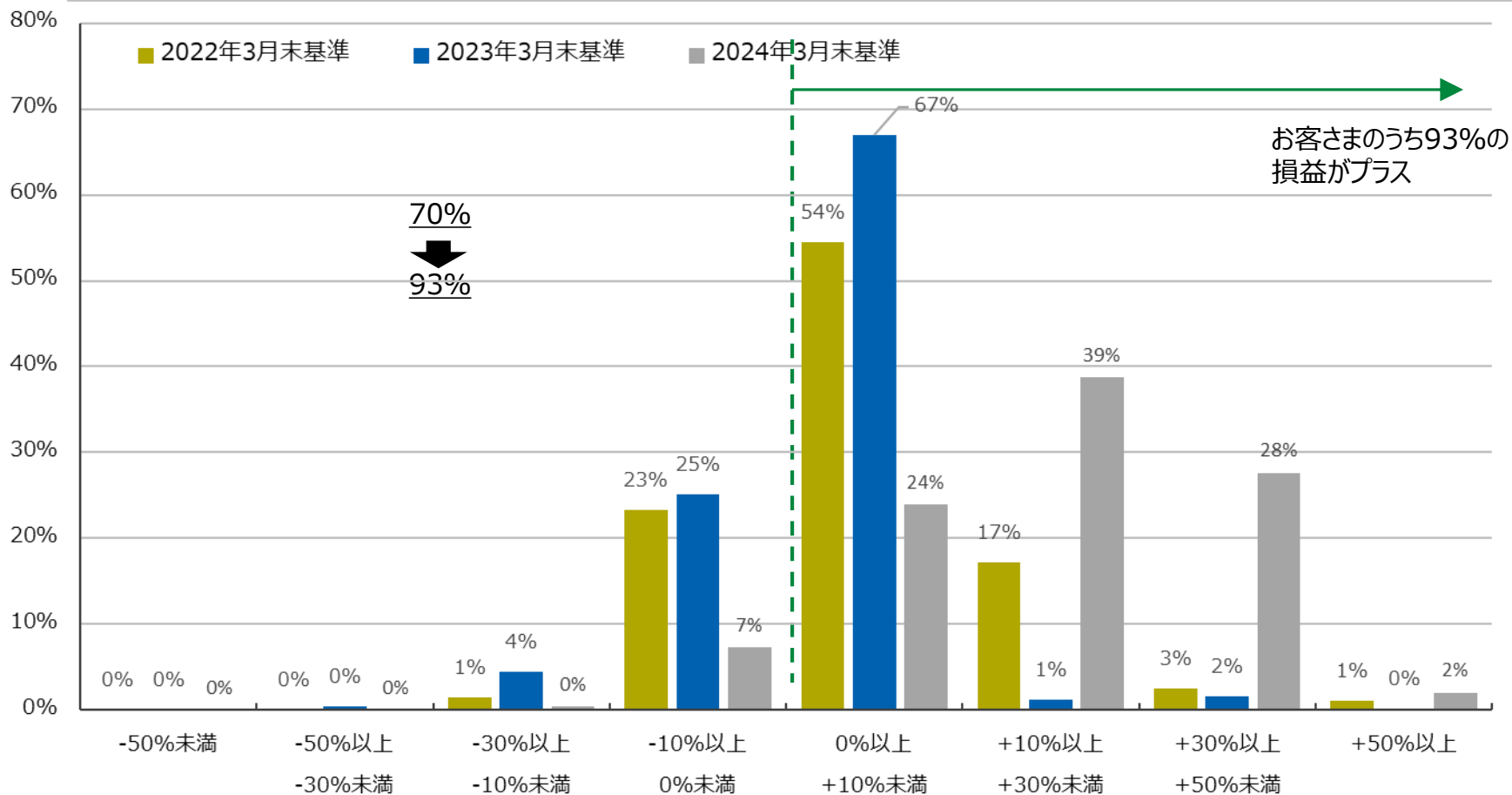
### ② 組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）」を真摯に受け止め、組合員・利用者の信頼と期待に応え続ける事業活動を目指し、職員育成と業務改善に努めております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の93%のお客さまの損益がプラスとなりました。



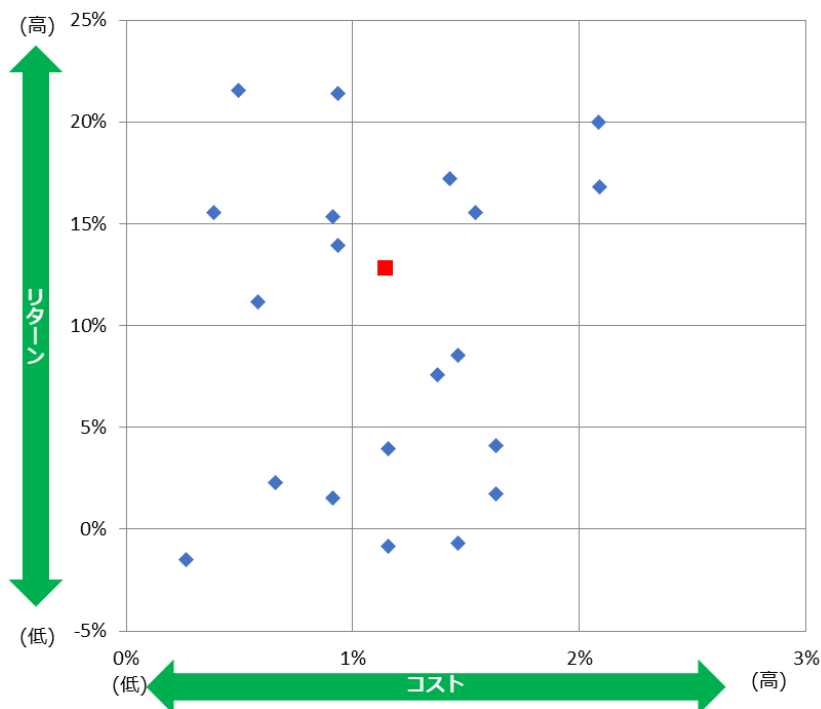


## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

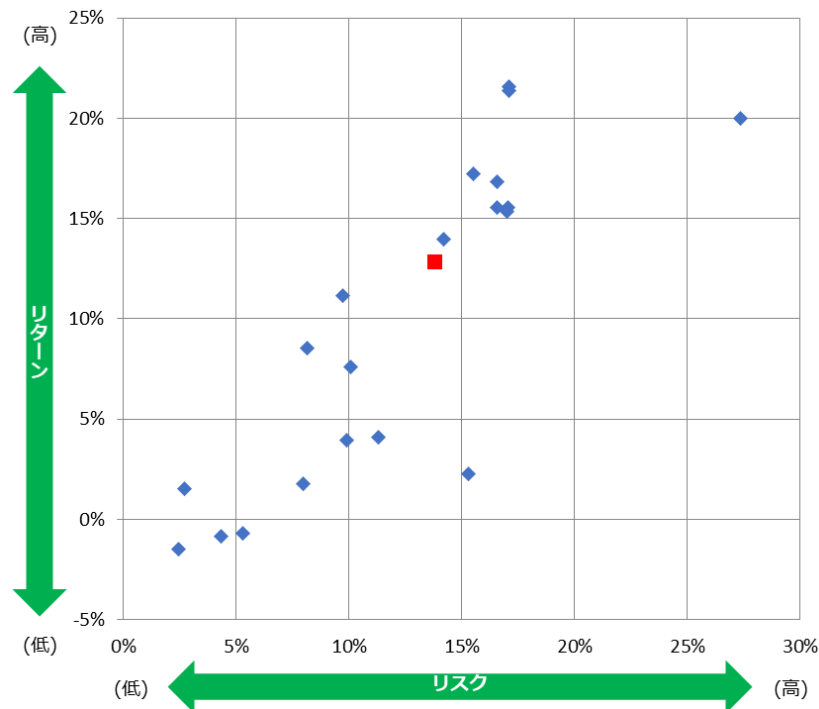
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.14%、平均リスク13.79%に対して、平均リターンは12.82%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

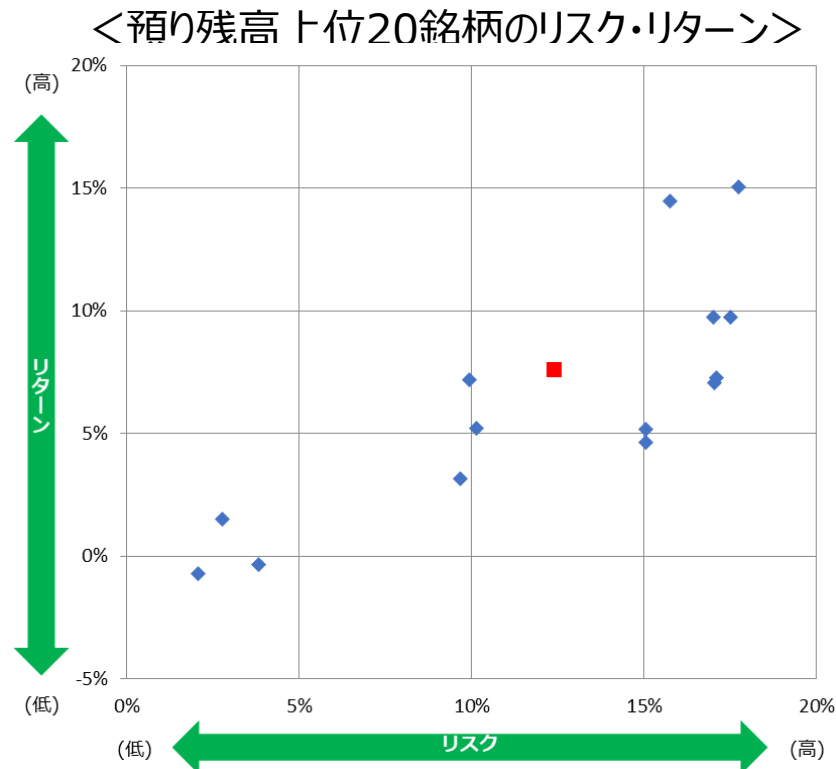
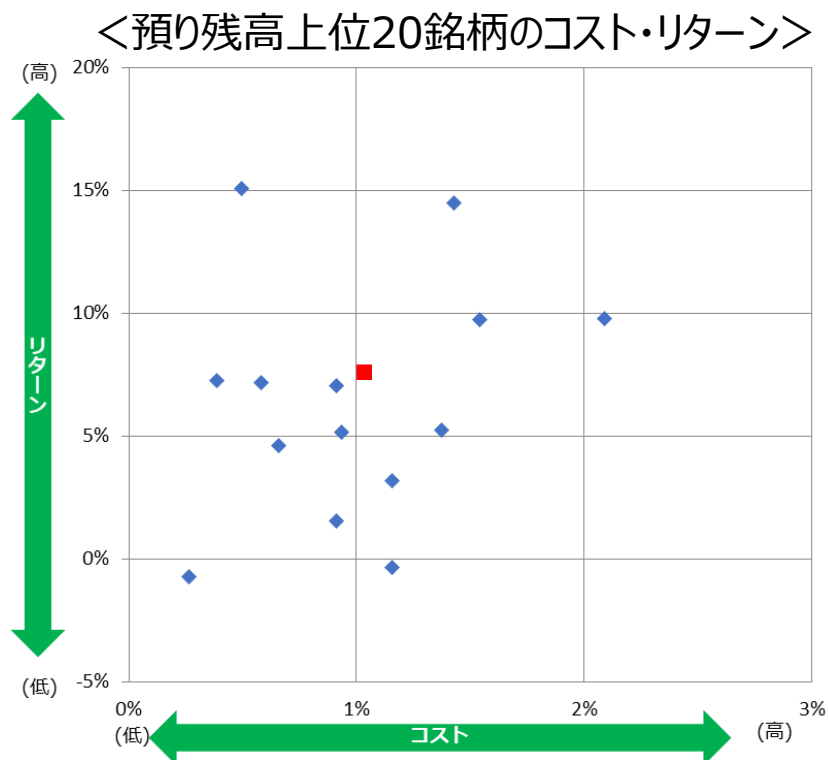


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.04%、平均リスク12.40%に対して、平均リターンは7.61%となりました。

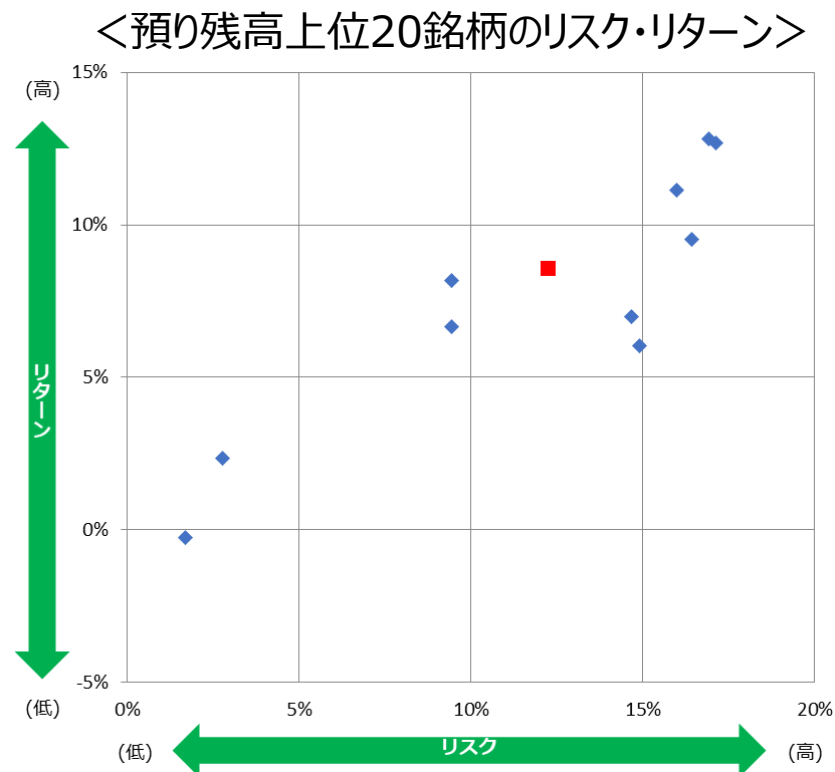
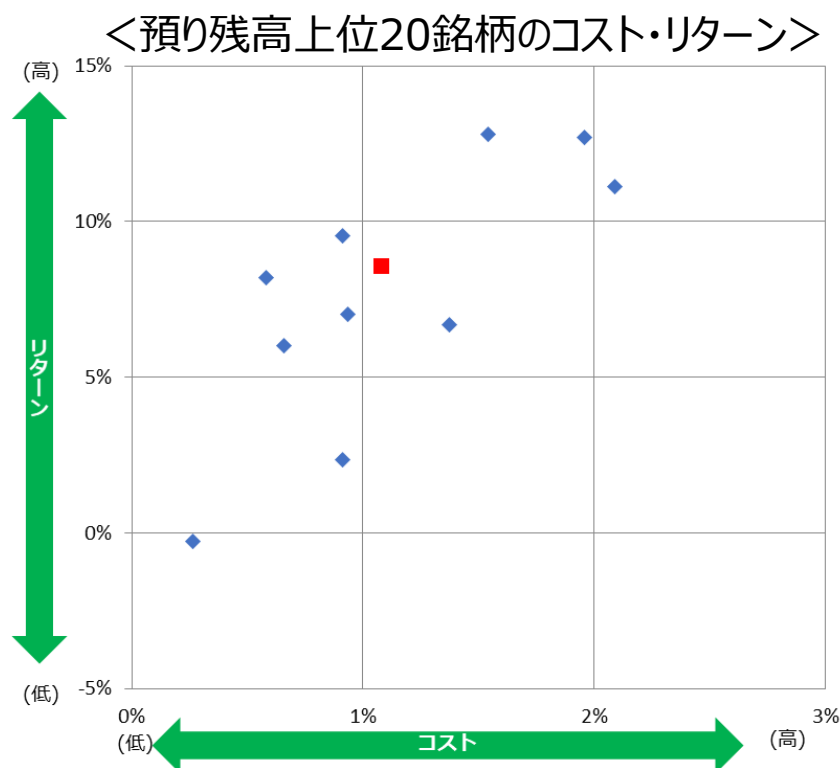


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.08%、平均リスク12.26%に対して、平均リターンは8.56%でした。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
3	つみたて N I S A 米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.55%	17.11%	0.50%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.95%	9.89%	1.16%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	17.22%	15.52%	1.43%
6	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.86%	4.33%	1.16%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	15.53%	16.54%	1.54%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.34%	17.00%	0.91%
9	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント (株)	19.98%	27.37%	2.08%
10	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
11	つみたて N I S A 日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.57%	17.06%	0.39%
12	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	11.15%	9.72%	0.58%
13	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	1.52%	2.73%	0.91%
14	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント (株)	8.56%	8.16%	1.46%
15	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-1.47%	2.46%	0.26%
16	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント (株)	-0.67%	5.31%	1.46%
17	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント (株)	7.59%	10.06%	1.38%
18	J A 海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	16.82%	16.55%	2.09%
19	J A T O P I X オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	13.95%	14.20%	0.94%
20	J - R E I T インデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	2.28%	15.30%	0.66%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		12.82%	13.79%	1.14%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド <sup>®</sup> (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	日米6資産分散ファンド <sup>®</sup> (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
9	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
10	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
11	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
12	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
13	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.76%	16.99%	2.09%
14	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.61%	12.40%	1.04%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は14本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
3	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	2.36%	2.76%	0.91%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
5	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.26%	1.70%	0.26%
6	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
7	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	11.13%	15.98%	2.09%
8	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
9	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.00%	14.67%	0.94%
10	J - R E I Tインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.02%	14.90%	0.66%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		8.56%	12.26%	1.08%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は10本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。